

研究会「放射線検出器とその応用」(第27回)

予稿原稿作成、講演発表、出張手続き、並びに懇親会申込みについて

拝啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

研究会「放射線検出器とその応用」(第27回)における予稿原稿の作成、出張手続き、講演発表の方法についてご案内いたします。また、研究会開催中(2月6日(水))には懇親会を開催いたします。皆様のご参加をお願いいたします。プログラムについては決定次第、研究会のホームページを通してお知らせいたします。

また、本研究会の成果は、研究会終了後、プロシーディング・レポート

RADIATION DETECTORS AND THEIR USE,

Proceedings of Workshop on Radiation Detectors and Their Uses

として出版されますが、本レポートへの投稿要領については、後日ご案内申し上げます。

高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター
研究会世話人 佐々木慎一

○講演時間は、口頭発表で討論5~10分を含んで30分(特別講演の場合は1時間)を予定いたしております。ポスターセッションは、ショートプレゼンテーション(5分程度)とポスタープレゼンテーション(約2時間)の双方を実施する予定です。詳細はプログラムでご案内いたします。

○高エネルギー加速器研究機構からの出張依頼を希望される方(講演登壇者に限る。大学・研究所職員並びに大学院学生に限る。民間企業並びにつくば・土浦地区の方には出張依頼が行えませんのであらかじめご了承ください。)は、講演申し込み時に出張依頼希望を明示(WEB申し込み時に該当欄にチェック)してください。ただし、旅費には制約がありますので、配分、調整等については世話人にご一任ください。出張依頼者の宿泊場所は、原則として、高エネルギー加速器研究機構共同利用宿泊施設となります。

○出張依頼がない方でも宿泊施設への宿泊が可能ですのでお問い合わせください。尚、出張手続きに関するお問い合わせは [029-864-5495](tel:029-864-5495) までお願い致します。

○出張の手続き、並びに宿泊施設利用のためには、ユーザー登録届け等の手続きが必要です。2008年度より出張の申し込み方法が変わり、全ての手続きが以下のURLから申請者自身が行えるようになりました。講演申込時に出張依頼を希望される方、宿泊施設希望の方(出張依頼希望者も含む)は下記URLより手続きをお願いいたします。

<http://www.kek.jp/uskek/>

入力の際に必要な「用務」に関しては以下をご入力ください(必要に応じて選択)。

KEKでの用務先：佐々木 慎一

実験・研究用務：研究会

用務詳細：研究会(放射線検出器とその応用)

○予稿原稿送付先、並びに問い合わせ先：

〒305-0801 茨城県つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構 放射線科学センター 研究会事務局

電話：029-864-5487、FAX：029-864-1993、E-mail：rd2013@ml.post.kek.jp

研究会ホームページ：<http://rcwww.kek.jp/rdetconf/>

予稿原稿作成のための手引き

1 予稿原稿は原則として和文です（英文でも構いませんが、以下の規格に合うように作成して下さい）。原稿はそのまま写真印刷されますので、下記の規格で作成して下さい。

ファイル形式：MS-Word、あるいはPDF形式（ただし、サイズは1MB以下とすること）

原稿枚数：A4版2ページ（図表等を含む）（特別講演、シンポジウム講演についても同じ）

マージン：上下各25 mm、左右各20 mm

1 ページ：46行 1 行：46文字（文字サイズ11ポイント全角相当）

文字フォント：和文フォントには明朝系、英数字はTimes Roman系を使用

2 タイトルは、16ポイントの文字サイズ、強調文字で原稿開始行に書き、センタリングして下さい。複数行にわたる場合も同様にして下さい。

3 氏名は、タイトルの後1行空け、センタリングして下さい。所属は、氏名の後1行空けて書き、センタリングして下さい。連名者のある場合には、氏名並びに所属に上付のA, Bの記号を用いて区別を明確にして下さい。

4 本文は、所属の後、1行開けて書いてください。本文を章に分ける場合は、左詰めで「1. はじめに」の様に、数字とタイトルを表示して章の区別を明確にし、章のタイトルの直後の行から本文を書いてください（1行開けない）。章と章の間は1行開けてください。

5 図表等は、本文の中あるいは最後のどちらに置いても構いません。ただし、「図1」あるいは「表1」の様に、区別を明確にして下さい。

6 引用文献は、本文中に「¹⁾、²⁾・・・」様に通し番号を付け、本文末に「引用文献」或いは「参考文献」の章を作り、そこにまとめてください。引用文献の書き方は次の例に従ってください。

例) 論文の場合 1) 著者名：雑誌名、巻、ページ、（発行年）。

著書の場合 2) 著者名：書名、出版社、出版地、ページ、（発行年）。

例)

予稿原稿作成のための注意

筑波太郎、山川海^A、花田次郎
東大工学部、高エネルギー加速器研究機構^A

1. はじめに

本文は、ここから書いてください。

懇親会申込用紙

申し込み：平成 年 月 日

申込者氏名	
所 属	
連 絡 先	〒 電話 () 内線 Fax () 電子メール
参加者氏名	所属 (学生の方は学年をご記入ください)
	計 _____ 名

懇親会日時 : 平成25年2月6日 (水) 18:00~20:00
 場 所 : 高エネルギー加速器研究機構 研究本館1階ラウンジ (予定)
 会 費 : 3000円 (学生1500円)
 当日、会場受付にてお納め願います